

不戦ネット

活動報告

こんなことも
やりました

小牧空港・小牧基地に関して 愛知県と話し合いをしました

不戦へのネットワークは、県営名古屋空港・小牧基地に関して、基地が拡大・強化されること、また、愛知県がさらに軍需産業の拠点になっていくことに重大な疑問・危機感を持つ立場から、県営名古屋空港などに係わる政策・事業に関して、4月21日付で愛知県知事に質問・要望書をだし、5月15日に、話し合いをしました。

その結果は次号に報告しますが、とりあえずどのような内容を申し入れたかを以下に記します。

(1) 小牧基地オープンベースでのブルーインパルスの展示飛行に関しての事実経過、事故により県民などに被害が及ぶことも考えられるので、来年以降の中止を求めるべきという要請、

(2) 三菱重工がF35ステルス戦闘機の整備拠点になることに関しての事実確認と県営空港が滑走路使用を通じて軍需工場と一体化することの懸念、

(3) 戦後初の純国産戦闘機・次世代実証機X2心神の試験飛行が昨年なされたことに関して、軍需産業の拡大に手を貸すことへの懸念、

(4) 5月20日に米軍のC17輸送機2機とオスプレイ5機が県営名古屋空港に飛来した事実経過及び名古屋空港に飛来しないよう対応することへの要請、

(5) アジアNO1航空宇宙産業クラスター形成特区に関して、県の航空宇宙産業の育成事業が軍需企業を支援になることへの懸念、MRJ生産への支援が軍需産業三菱重工への支援になることへの懸念、11月開館予定の「あいち航空ミュージアム」の「航空フィールドミュージアム構想」に軍事的な施設が見学・観光のルートになっていることの問題、

(6) その他として、自衛隊機が低空飛行をおこなったり、編隊飛行をしていることの問題、昨年12月に国連総会で決議された「平和への権利」を踏まえて県の全部門が県民の安全・平和な暮らしを実現するよう努力すべきこと、その立場から小牧基地や防衛省との対応をすべきこと、愛知県は1963年平和県宣言をしたが、「日本非核宣言自治体協議会」や「平和首長会議」などに関わり、東北アジアの平和を目指すべきこと。

沖縄意見広告運動 全国キャラバン あいち集会

今年で、8回目になる「沖縄意見広告運動」の全国キャラバンの集会を、5月17日行いました。

当日は、辺野古のカヌー隊の船長の仲宗根和成さんと、愛知でもおなじみになった闘うシンガー川口真由美さん、キャラバンメンバーを迎えて、辺野古の現状報告や、川口さんの歌で盛り上がりました。

仲宗根さんは、辺野古では、違法な本体工事が進んでいるが、埋め立ての取り付け通りの下には遺跡があり、強度のある道路が作れない。そのために、搬入も少しずつしかできていない。台風の季節になれば、小さなグリ石などすぐに崩れてしまうだろう、ということでした。毎日、海に出ると心が折れることもあると・・・。勇ましい言葉ではなく、そこに住む人の生身の人の痛みや苦痛がひしひしと伝わってくるお話でした。この2年間ほぼ毎月辺野古に通い、辺野古にしか行ったことがない。そうしないではいけない、川口さんの想いを歌と語りで存分に聞くことができました。最後は、会場の前で大合唱。盛り上がりました。意見広告は、6月3日に朝日新聞に掲載されるとのことです。



市民の伊勢志摩サミット

～1周年記念イベント

伊勢志摩サミットから1年、東海市民社会ネットワーク主催の企画が行われました。テーマは「SDGsの地域展開と政策協働」、不戦ネットは、昨年国連で採択された「平和への権利」をテーマに平和の分科会を担当しました。講師は、ネット代表の飯島滋明さん。まだまだ認知度が低い、テーマです。日本政府は、「平和的生存権は国際法で確立されていない」と採択に反対をしています。憲法も捨てようとしている今の政府にとって、このような規範ができることは都合が悪いのでしょうか。私たちの権利として、もっと具体化していきたいものです。